

こんしゅう

今週のことば「キリスト」

せいしょ

ふくいんしょ

《聖書》マタイによる福音書 11:2-11

たい

じだい

「キリスト」に対するイエスの時代の

ひとびと きたい

人々の期待がどのようなものであったか

ひと

いろいろちが

は、それぞれの人によって色々違って

きゅうやくせいしよ なか

たようです。旧約聖書の中では、ヘブル

ご

ひょうげん つか

語で「メシア」という表現が使われてい

ご

ました。「キリスト」はそのギリシヤ語

やく

訳です。

げんみつ いみ

厳密な意味での「キリスト」は、ダビ

けいやく ゆらい

デの契約から由来しています。サムエル

きげ

よげん

記下7:1-17のナタンの預言において、『

み で しそん あと つ

あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、

おうこく ゆ

その王国を揺るぎないものとする』と約

そく

束されています。

きげんぜん せいき どういつおうこく じだい さく おも

紀元前10世紀の統一王国時代の作と思

しゅくふく

みんすうき

われているバラムの祝福にも、民数記24

:17で『ひとつの星がヤコブから進み出

く み

る』という句が見られます。

しゅくふく

その他、ヤコブの祝福(49:2-28)でも、

おうしやく

はな

とうち

つえ あし

『王笏はユダから離れず、統治の杖は足

あいだ はな

しゅうらい おう やくそく

の間から離れない』と、将来の王を約束

しています。

きたい どういつおう

しかし、キリストへの期待は、統一王

こく じだい

おうこく

めつぼうご

つよ

国時代よりも王国の滅亡後に強くなって

いきます。イザヤ書61章では貧しい者へ

しよ しゅう

まず もの

の福音が告げられています。洗礼者ヨハ

ふくいん つ

せんらいしや

ネに対するイエスの答えはこのイザヤ書

たい

こた

しよ

から取られています。

と

黙示文学(紀元前2世紀～紀元後1世

もくじ ぶんがく

きげんぜん

せいき

きげんご

せい

紀)の中においては、天的な先在者とし

き

なか

てんてき

せんざいしや

ての「人の子」と、「キリスト」の概念

ひと こ

がいねん

が混合して使われるようになっていきま

こんごう つか

す。

ひとびと せいじてき きぼう

このように、人々は政治的な希望とし

しそん

あぶら

そそ

おう

て、ダビデの子孫として油を注がれた王

つよ のぞ

を強く望むようになっていきました。し

きたい こた

かし、イエスはそうした期待に答えずに

じゅうじか

し

えら

わたし

十字架の死を選びました。私たちはキリ

きたい も

ストにどのような期待を持てばいいので

しょうか。

たいこうせつだい

しゅじつ

ねん

たきの

待降節第3主日A年(滝野)